

西日本豪雨災害



7月5日(木)、当団体のある兵庫県でも雨が降り始めました。その雨は九州から岐阜県という広範囲で三日間激しく降り続き、西日本の各地で大雨特別警報が発令されました。交通機関も早めの運休を決定し、都会の生活も大きく影響を受けましたが、テレビで放映されていた

のは、岡山県、広島県、愛媛県を中心に多くの場所で決壊した河川や土砂崩れによる、信じがたいような映像でした。あまりに甚大な被害に胸が痛み、一人でも多くの方が助かってほしいと祈らずにはいられない光景でした。(次ページに続く)



大阪北部地震

6月18日(月)朝7時58分、大阪府北部を中心に震度6弱の地震が発生しました。大阪市地下鉄をはじめ、JR、阪神、阪急、京阪など各鉄道は全て運休状態。午前中はNVNAD役員間で連絡を取り合いながらスタッフおよび関係者の安否確認を行い、並行して被害情報の収集を行いました。その後、大阪大学吹田キャンパスに集合し、関係者に連絡を取りながら救援活動の方針について打ち合わせを行いました。発災当日は高槻市へ向かい、戸別訪問をしながら、その場でできる支援を臨機応変に行いました。

(4ページに続く)



- c o n t e n t s -

- P1・・・ 西日本豪雨災害／大阪北部地震
- P2・・・ 西日本豪雨災害(続き)
- P3・・・ 西日本豪雨災害(続き)／Vision 117
- P4・・・ 大阪北部地震
- P5・・・ NVNAD通常総会報告
- P6・・・ NVNAD通常総会報告(続き)
- P7・・・ Nうごき／Nごよみ
- P8・・・ 会員・寄付者・募金者のみなさま／救援活動支援金寄付のお願い／編集後記

西日本豪雨災害

■支援活動開始

7月8日、西宮市でもようやく雨が上がり、休日だったが数名のスタッフが事務所に集まり、支援活動を決定。情報を収集したり、ホームページでの発信など活動を始めた。

7月10日、事務局スタッフは学生ボランティアとともにJR西宮駅にて街頭募金活動を行い、理事の渥美・寺本はそれぞれ岡山県倉敷市真備町・兵庫県神戸市灘区・宍粟市・上郡町へと先遣隊として赴いた。

真備町先遣隊（7/11ブログより抜粋）

ポリタンクに入れた生活用水、ペットボトルの水、お茶などを車に積めるだけ積み込んで、同僚の稲場圭信教授と私の研究室からボランティアとして参加してくれた林亦中さんと一緒に吹田を出発しました。被害の甚大さは、報道で知っていたつもりではありましたが、現地に行ってみて、見渡す限りの被災状況に改めて驚き、心を痛めました。通りという通りはどこもかしこも泥が流れ、そして猛暑快晴の中で乾いて砂埃が舞っていました。その中で、住民の方々が懸命に泥かきや家具の運び出しなどをされていました。どの方の顔にも疲労が滲み出ていました。救援物資を受け入れて住民に配っているという真備総合公園体育館に向かいました。水や食品など大量に物資はありましたが、やはりボランティアはまだ到着しておらず、すべて市職員で対応しているということでした。被害の大きかった地域から少し離れているし、片付けに懸命の住民がそこまで物資を取りに行くのは大変だろうと考えて、パンやご飯（水を入れて調理できるタイプ）などを受け取って車で出向いて片付け中の皆さんに配らせていただくことにしました。

被災中心部、真備町岡田・有井にもどりましたが、どこもかしこも片付け作業中でしたので、先ほど通った道で見かけた方々に次から次へと声をかけて、持ってきた水や受け取ってきた食品をお渡ししながら話を伺いました。「ありがとう」「本当に助かる」「え～西宮から…ありがとう」「もっとひどい被害の所にも配ってあげて」と頭を下げてくださる方々。「屋根に逃げてボートで救出された。でもどうやって屋根に出たか覚えてない。そのボートがあと少しのところまで揺れて、最後は泳いだ」と話して下さった高齢の女性。「うちは2階までやったけど、あそこの家は2階の天井まできたんや」とその方角を指さしながら「もうどうしていいか・・・」と汗をぬぐう男性。「大変でしたねえ…手伝わなあかんけど、今日はとりあえず配らせてもらいますね」とお応えしつつまわりました。車1台で配れる範囲はほんの少し。同じようなご苦労がこの広大な真備の町のあちらこちらにあるのだと思い、後ろ髪を引かれる思いで町をあとにしました。

神戸市灘区先遣隊

大阪大学渥美研究室の学生と共に神戸市灘区へ。消防関係者や住民の方から話をお聞きすると、今後しばらくは重機を使用予定、ボランティアセンターの立ち上げ予定はないとのこと。それでもこの日は機材を調達し、土砂が流れ込んだお宅の片づけを手伝う。

兵庫県上郡町・宍粟市・丹波市先遣隊

上郡町にて住民課の方から被災状況を聞く。幸い人命にかかわる被害はなかったが様々なところで土砂崩れが発生。ハザードマップ通りに斜面が崩れていたとのこと。

宍粟市では一宮地区を訪問し、社会福祉協議会の方に話を聞いた。残念ながら土砂崩れによる死者が出てしまい、避難所であったはずの公民館も土砂により被災。宍粟市も重機による作業が中心で、通常のセンターでのボランティア受付をしているとのこと。

7月13日 丹波市では社会福祉協議会にコーディネートして頂き、前回の水害の際も被害にあわれたという女性のお宅で泥出し作業を行う。

京都府宮津市

7月14日、「社会貢献預金すまいる」でお世話になっている近畿ろうきん様からのお誘いで、京都市災害ボランティアセンター主催の支援活動に参加。京都府宮津市へ向かう。

支援に入った池ノ谷地区は山間に面した約20軒の集落で、床上浸水や全壊した家もあるとのこと。主に軒先や床下の泥掻き作業や集落の側溝に堆積した泥の撤去作業にあたる。

ここにきて、報道では伝えられていない被災場所がまだまだある事を改めて実感した一日となった。

■記録的な酷暑の中、それぞれの活動

未曾有の豪雨災害より1週間、今度は記録的な猛暑が西日本を襲う。7月下旬には西宮市でも最高気温38度となる。ただでさえ不便な避難生活の中で、酷暑が重なった被災地の皆様の疲労はいかばかりかと思う。また、支援活動はボランティア不足と共に熱中症対策も大きな課題となった。当団体でもお互いに熱中症への対策を呼びかけながらの支援活動となったが、活動内容も支援の手も広がりを見せてきた。

倉敷市（真備町）支援

- ・7月14日～16日 NVNADスタッフ、大阪大学から教員2名・学生6名、一般ボランティア2名。
※真備町にボランティアが集中しがちな面を踏まえ、近隣の矢掛町、井原市にも支援に入る。
- ・ボランティアバス（西宮市社会福祉協議会共催）
7月25日・8月3日、ボランティアを一般募集して日帰りのボランティアバスを実施。
反響は大きく、両日ともスタッフ合わせて総勢50名となった。高校生から70代の方まで、初めてのボランティアという方も多く懸命に活動していただいた。

浸水写真復活プロジェクト

三重県津市にてボランティア活動を行っている当団体監事の萩野を中心に、被災地で浸水した写真を洗い、デジタル処理して復活させるプロジェクトが発足。津地区ボランティア連絡会の皆様のご協力の元、真備町のお宅から預かってきた段ボール5箱分の写真の作業に取り掛かった。

■そして、これからのこと

現地で活動したスタッフやボランティアの方が一番感じたことは、まったくボランティアが足りていないという事実であると思う。被害が広範囲であることと酷暑の為作業が思うように進まないことにジレンマを抱く場面も多かった。それでも私たちは、少しでも家が片付き、被災された方のお話を聞き、笑顔が見られると、暑い中でも来て良かったと思いながら帰路に就くことが出来た。

NVNADでは皆様から頂いたご寄附を活用させていただき、ボランティアバスも引き続き実施いたします。多くの皆様にボランティアに参加していただきたいと願っています。まずは、一番大変なこの夏の支援、そしてその先も支援活動を続けるとともに、防災活動にも一層の思いをもって取り組んでまいります。

※それぞれの活動の詳細は、ホームページのブログをご参照ください。 NVNAD 検索

Vision 117

大阪北部地震、西日本豪雨災害と続きました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われ不自由な生活をされている皆さまに心からお見舞いを申し上げます。NVNADでは、皆さまから多大なご支援を頂戴し、救援活動を展開・継続して参りました。ご支援を頂きました皆さまに深く感謝申し上げます。

NVNADは、まず現地に行って現地の人々のお話に耳を傾けながら対応していくというスタイルで臨んでいます。その中で、改めて学ばせて頂くことがたくさんあります。例えば、都市部の地震では倒れた家具を起こせないまま、手伝ってくれる人を何日も何日も一人で待ってられる高齢者の姿に出会います。日頃からのご近所づきあいや様々な団体との関わりが大切だと改めて感じます。また、東日本大震災や、今後予期される南海トラフ地震と比べられるような広範囲の被害をもたらした今回の水害では、ボランティアがどこでどのように活動するのがよいのかということについて、改めて学びました。それは、全国規模で一律に対応するという方向ではなく、それぞれが細やかに、できることからやっていくというボランティアならではの方向を大切にすることだと感じています。

北部地震では、協定を結んでいる大阪大学大学院人間科学研究科の学生さんや教職員、同研究科の位置する吹田市の社会福祉協議会と連携しながら対応しています。吹田市社協さんによる災害ボランティアセンターが閉鎖されてからも、学生さんがインターネットを活用してボランティアを募

り、社協職員と一緒に訪問とお手伝いを繰り返してきました。また、大学周辺が被災しましたので、その地域に住む留学生が不安に怯えるケースも多発しました。教員の方々と一緒に大学の今後の対応について検討する場に参加しています。

西日本豪雨災害では、ご支援を頂いた皆さまと、協定を結んでいる西宮市社協さんにお世話になってボランティアバスを出し、たくさんの市民の皆さまにご利用頂いて、倉敷市真備町にて、酷暑の中での片付けに取り組んで頂いております。ありがとうございます。一方、より細やかな支援活動も必要ですし、真備町の周辺には、ボランティアがあまり行かなかった町もあります。そこで、別働隊を組んで、大阪大学の皆さんと個別の支援活動に取り組んで参りました。障害のある方々や小さな集落などに訪問を繰り返しています。その際には、いつもお世話になっているフェリシモさんから、特定の集落で必要とされた女性用下着などを個別に渡せるようにしていただき、大変喜ばれました。

NVNADのできることは限られていますが、おかげさまで、たくさんの方々にご支援を頂き、またメディア等でも注目していただけております。大変ありがたいことだと感謝申し上げます。ただ、地元には、ボランティアという言葉も使わずに地味な活動をずっと続けておられる方々がいらっしゃることを忘れてはならないと思います。NVNADでは、そういう皆さまの傍らでそっと手助けするような活動をしっかりと続け、被災された皆さまに寄り添っていきたくと考えております。

この夏の災害は、長期にわたりそうです。引き続き皆さまからのご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

（理事長 渥美公秀）

大阪北部地震

(1ページからのつづき)

翌6月19日は、災害ボランティアセンターの設置が決まった吹田市

社会福祉協議会に伺ったところ、災害ボランティアセンターの立ち上げについて協議されている会議に加わらせていただくことになりました。その日のうちに吹田市災害ボランティアセンターが立ち上げられ、早速被災者からの困りごと（ニーズ）が入ってきたため、我々も家屋の後片付けなどの活動に参加しました。また、前日訪問した高槻市で

は、断水は解除されたもののまだ飲料水としては使用できない状況にあったため、近畿ろうきん 社会貢献預金「すまいる」より、災害救援費用としてご寄附いただいた資金を活用して、飲料水やお茶を戸別訪問しながら配布させていただきました。6月19日以降も、大阪北部地震におけるNVNADの支援活動は、吹田市災害ボランティアセンターを通して行わせていただきました。大阪大学人間



科学研究科の稲場先生をはじめ、同研究室ならびに渥美研究室の学生の皆様のご協力のもとボラン

ティアさんにもご参加いただき、ボランティアセンターに上がってくるニーズの対応にあたりました。ニーズの多かった作業は、ひとりでお住まいの高齢者宅での家具の移動や運びだしや荷物の片付けなどでしたが、屋根にブルーシートをはる際に使用する土のう袋に土を入れる作業なども行いました。また、ボランティアセンターの活動をお知らせするためのチラシの戸別配布なども手伝わせていただきました。



6月30日には吹田市災害ボランティアセンターの発案で「にぎにぎ大作戦」を実施しました。これは我々NVNADが提唱するところの“被災地のリレー”にあたるもので、過去の被災地が次の被災地を応援するというかたちでのリレーです。今回は、新潟中越地震の被災地（小千谷市塩谷集落）のお米と東日本大震災被災地（岩手県野田村）のお塩で「おにぎり」を作り、ボランティアさんに振る舞いました。この活動には吹田市内の被災地域の



福祉委員会および大阪市内の中学生のご協力をいただきました。



今回の震源は、大阪大学吹田キャンパス他、複数の大学からも近く留学生が多いエリアでした。初めて地震を体験した学生も多く、避難所には数多くの留学生が集まりました。慣れない国での被災により、精神的ショックが大きかった学生もいました。また、言葉の壁により的確なアドバイスを得られなかったり、思うような情報収集ができなかったという話も複数耳にしました。この点は、この地域に限らず、今後の課題として対策が必要であることを改めて感じています。その他にも、これまでの教訓が活かされたこと、活かせなかったことをきちんと検証し、情報を共有していく必要性を感じています。

我々は吹田市災害ボランティアセンターの活動最終日となった7月1日まで活動に携わらせていただきましたが、被災者の支援活動は翌2日以降も「きららスマイルセンター（復興支援センター）」に移行し、7月31日まで被災者からのニーズに対応され、現在は吹田市社会福祉協議会の平時業務をされています。

最後になりましたが、この度の地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますと共に、被災された方々の一日も早い復興を心より願っております。

この度のNewsletter vol.116は、続けて発生した大きな災害を中心に編集させていただきました。平素の活動につきましては、7ページのNうごきにてお知らせしております。

第20回NVNAD通常総会報告

第20回NVNAD通常総会は、2018年6月16日（土）西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

I. 第19期（2017年度）事業報告（2017.4.1～2018.3.31）

第19期（2017年度）を振り返ってみると、災害救援においては、7月に発生した九州北部豪雨災害に対して、まず7月17日と21～22日に先遣隊として現地入りをした。福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市を中心に、大阪大学や西宮市社会福祉協議会などと連携しながら現地でのニーズを把握した上で、泥かき作業や仮設住宅での茶話会やハンドアロマなどの支援活動を実施した。日田市の夜明ニコニコ保育園では、流された砂場の遊び用具の支援なども行った。

2009年8月水害の被災地（佐用町久崎地区）では、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）と共同でコミュニティカフェや竹炭焼きなどの活動を継続実施した。また、2011年3月の東日本大震災関連では、岩手県野田村から食材を取り寄せ関西で野田村ファンクラブが中心となって交流イベントを行ったり、福島県郡山市では地元のNPO法人ハートネットふくしまが、復興住宅で継続実施している炊き出しやお茶会の支援活動をサポートした。その他にも地元西宮においては、県外避難者を対象にした活動をKSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催で開催し、交流イベント4回、学習支援イベント4回の合計8回実施した。そして、2014年8月の土砂災害の被災地（丹波市前山地区）では、桜復興まつりの手伝いなども行った。

平常時の活動においては、活動の3本柱である、①『防災まちづくり活動』としては、子ども防災クラブや親子でわかまち探検隊をはじめ、西宮市の受託事業として樋ノ口地区、また、尼崎市社会福祉協議会の受託事業として武庫地区でそれぞれ地域防災マップづくり事業を実施した。②『講演・講座活動』としては、津市市民防災大学や伊勢市社会福祉協議会等からの継続した講座の依頼に加え、敦賀市社会福祉協議会や多気町社会福祉協議会等、県外から新規の講座依頼も多数あった。③『ネットワーク活動』としては、第22回チャリティカレンダー市を開催すると共に、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などを通じて、兵庫県内の他団体とのつながりを広げさせていただいた。その他、南海トラフ大地震による津波災害を想定して、和歌山県南部町でわかやまNPOセンターと近畿ろうきんと共同で「親子防災教室」や、昨年度に続き、「防災ふれあいウォーク」を武庫川女子大学で実施した。

- （活動事業実績）
1. 災害に関する講演・講座事業 30回
 2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 18回
 3. ネットワーク事業 8回
 4. 災害救援活動事業 33回
 5. その他の活動 11回

II. 第19期（2017年度）決算並びに第20期予算

別表参照

III. 第20期（2018年度）事業計画（2018.4.1～2019.3.31）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、九州北部豪雨災害などでの活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス（青森県八戸高等専門学校、青森県弘前大学など）のネットワーク団体と情報交換しながら、高台団地での交流イベント支援や子どもの交流事業など、被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたい。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントや学習・遊び支援活動の継続を行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「すまいる」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に、加えて今年度「健康防災基金」を立ち上げ、まずは地元西宮で「都市農園プロジェクト」や「西宮ウォークプロジェクト」などの具体的な実施や、西宮市や西宮市社会福祉協議会と連携して「災害ボランティアセンター運営訓練」や「災害ボランティア養成講座」などの事業を実施したい。また、NPO法人北いわて未来ラボと連携しiPadを使用した子ども向けプログラムの開発や、防災研究会における兵庫県上郡町での活動、あるいは、「休眠預金」の活用が1年後からスタートすることを踏まえての事業展開なども模索していきたい。同時に、財源確保のための寄付や協賛金など得るために企業などへの営業活動、および、将来を担ってもらえる若手人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動
 - (1) 東日本大震災の支援活動
 - ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
 - ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
 - ③野田村ファンクラブ
 - (2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動
 - (3) 熊本地震の支援活動
 - (4) 九州北部豪雨災害の支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動
 - (1) 子ども防災クラブ
 - (2) 子ども森林体験ツアー など
2. 防災意識高揚のための取り組み
 - (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
 - (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充 (1) 全国災害救援ネットワーク (Jネット) 総会
(2) ひょうご市民活動協議会 (愛称: ひょうごん)
(3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 (兵庫県)
(4) チャリティカレンダー市
4. 新規事業の企画 (案) ・ ・ 収益 (事業、会費、寄付など) を高めるために
(1) 防災ITプロジェクト(みやもん)の実施 ・ ・ NPO法人北いわて未来ラボ
(2) 防災ウォーキングイベントの企画 (「健康防災基金(仮称)」の設置)
(3) 都市農園プロジェクト (高木地区)
(4) 自治会単位での防災訓練の企画
(5) 寄付や助成金獲得について検討会 (休眠預金やファンドレイジングなど)
(6) 若手育成プロジェクト (次世代のリーダー育成) など

III. 今年度末の災害救援準備金残高 1,000千円

- (内規) (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で案の上、承認を受けることとする。
(2) その内、500千円は、近畿ろうきんの寄付制度「すまいる」より、近畿圏内での災害支援活動の費用として積み立てを行う。

IV 役員改選

(1) 役員候補者

理 事	(再任) 渥美 公秀	大阪大学大学院教授
〃	(再任) 池田 直樹	弁護士 (あすなろ法律事務所) ・ 関西学院大学教授
〃	(再任) 太田 博	㈱関西技術コンサルタント代表取締役
〃	(再任) 奥田 和子	甲南女子大学名誉教授
〃	(再任) 寺本 弘伸	常勤理事
〃	(再任) 檜垣 龍樹	尼崎市職員
〃	(再任) 山口 元	(社福) 光朔会オリンピック理事長
〃	(再任) 矢守 克也	京都大学防災研究所教授
〃	(再任) 米山 清美	にしのみや遊び場つくろう会代表
監 事	(再任) 岩瀬 哲正	公認会計士 ・ 税理士 (岩瀬会計事務所)
〃	(再任) 萩野 茂樹	三重県ボランティア連絡協議会副会長

■総会終了後、理事会において、次の通りそれぞれ役職に就任しました。

・ 理事長 渥美公秀 ・ 副理事長 檜垣龍樹 ・ 常務理事 寺本弘伸

V 定款変更について NPO法改定に基づき、以下のとおり定款を変更する

現行	変更後
(公告の方法) 第53条 この法人の公告は、この法人の掲示板に掲示するとともに、インターネット・ホームページ若しくは西宮市又は神戸市で発行される新聞に掲載して行う。	(公告の方法) 第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。

(別表) 活動計算書 (第19期決算及び第20期予算)

「一般会計・特別会計 (災害救援)」

(単位: 円)

科 目	第19期予算	第19期決算	第20期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	1,050,000	863,500	940,000
2. 受取寄付金	3,300,000	5,651,390	2,720,000
3. 受取助成金	1,400,000	1,050,000	1,000,000
4. 事業収益	5,210,000	4,657,001	4,360,000
5. その他収益	1,000	349	1,000
経常収益計	1,0961,000	12,222,240	9,021,000
II. 経常費用			
1. 事業費	16,847,559	13,274,348	14,831,114
2. 管理費	817,100	2,028,930	2,103,864
経常費用計	17,664,659	15,303,278	16,934,978
税引前当期正味財産増減額	-6,703,659	-3,081,038	-7,913,978
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-6,785,659	-3,163,038	-7,995,978
前期繰越正味財産額	42,723,403	42,723,403	39,560,365
次期繰越正味財産合計	35,937,744	39,560,365	31,564,387

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- 5月 4日 圭介祭り (兵庫県上郡町)
- 5月 5~7日 益城町訪問 (熊本県)
- 5月 8日 防災イベント「みやもん」実施 (西宮市)
- 5月 9日 防災研究会 (神戸市)
- 5月 10日 通常理事会 (西宮市)
- 5月 12日 佐用町訪問 (兵庫県)
- 5月 17日 ニュースVol.115発行
- 5月 18日 上郡町訪問 (兵庫県)
- 5月 19日 野田村ファンクラブのつどい (吹田市)
- 5月 25日 近畿ろうきん合同会議 (大阪市)
- 5月 26日 NVNAD会計監査 (西宮市)
- 5月 27日 防災講演会 (三重県松阪市)

- 6月 2日 熊本保育園交流会 (西宮市)
- 6月 16日 NVNAD通常総会 (西宮市)
- 6月 18~7月1日 大阪北部地震支援活動 (大阪府高槻市、箕面市、吹田市)
- 6月 19日 防災研究会 (神戸市)
- 6月 28日 ひょうごん総会 (神戸市)
- 6月 30~7月1日 九州北部豪雨支援活動 (福岡県朝倉市・熊本県益城町)

- 7月 9日 ふれあいの祭典取材 (西宮市)
- 7月 10日 西日本豪雨災害先遣隊派遣 ① (岡山県真備町、神戸市灘区) 西日本豪雨災害のための募金活動
街頭募金活動 (西宮市)
- 7月 11日 西日本豪雨災害先遣隊派遣 ② (兵庫県上郡町、宍粟市)
防災研究会 (神戸市)
- 7月 12日 JICA関西防災マップ講演 (神戸市)
- 7月 13日 西日本豪雨災害支援活動 (兵庫県丹波市)
- 7月 14日 西日本豪雨災害支援活動 (京都府宮津市)
- 7月 14~16日 西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町、矢掛町)
- 7月 19日 活動報告会 (西宮市)
- 7月 20~22日 郡山市訪問 (福島県)
- 7月 25日 ボランティアバス第一弾 (岡山県真備町)
- 7月 27日 ふればの縁日 (西宮市)
- 7月 29日 第1回子ども防災クラブ (西宮市)
- 7月 30日 KSNプロジェクト「千刈キャンプ」 (兵庫県三田市)



「みやもん」の
ビーコンとBox



交流会 (ハートネットふくしま)



西日本豪雨災害のための募金活動



西日本豪雨災害報告会



子ども防災クラブ

Nごよみ

8月以降の予定・講演などのスケジュール

- 8月 2日 大阪大学との協定調印式
- 8月 3日 ボランティアバス第二弾 (岡山県真備町)
- 8月 4日 防災研究会 (兵庫県上郡町)
- 8月 8日 防災チャレンジキャンプ (西宮市)
- 8月 9日 ボランティアバス第三弾 (岡山県真備町)
- 8月 17日 ニュースVol.116発行
- 8月 17~19日 西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町)

- 9月 8日 防災講演会 (兵庫県丹波市)
- 9月 11日 防災授業 (兵庫県丹波市)
- 9月 13~14日 災害ボランティア養成講座 (西宮市)
- 9月 16日 防災講演会 (千葉県松戸市)
- 9月 23日 防災講演会 (大阪府堺市)
- 9月 28日 防災講演会 (西宮市)
- 9月 29日 野田村ファンクラブのつどい (兵庫県明石市)

- 10月 13日 第3回子ども防災クラブ (西宮市)



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■会員のみなさま（2018年5月1日～2018年7月31日）

個人正会員：「継続」中村有美、渥美直子

個人賛助会員：「新規」生田正枝、上田啓瑚

個人賛助会員：「継続」渥美杏奈、渥美樹里、上野由紀子

■寄付者のみなさま（2018年5月1日～2018年7月31日）

「一般」：深山操江、平沢美智子、福田明久、山内孝一郎、柳井淑絵、ファンキーカンパニー
イマムラカズヒロ、渡辺祐子、近畿労金NPO寄附システム契約者の皆様、
ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■募金者のみなさま（2018年5月1日～2018年7月31日）

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「九州北部豪雨災害」平谷真彦

「大阪北部地震」掛水須美枝、山岸春治、野田村役場有志

「西日本豪雨災害」鶴田美紀代、戸口始、戸口裕子、若宮ちひろ、黒田真吾、高井千珠、田中洋一、朝井朋子
オオニシショウスケ、有限会社ゴクラクヤブツダン、平谷真彦、西村公貴、永田素彦、阪本祐一、フルツカ
モリワキユタカ、太刀掛俊之、木下和寛、高橋尚子、星野典子、茨木浩美、フクモトミチヨ、ハツ塚一郎
外館真知子、梅田康弘、弘本由香里、成輪有香、河野昌弘、タナカノブユキ、タナカケンゴ、ウオタカズオ
フジモリツネコ、シマダアキラ、アオヤマユキヒロ、板東由佳恵、大畑美紀子、北いわて未来ラボ、久保田聡
横山雅子、小野均、オカタニサチコ、コウロジロウ、ナガオカトオル、ハマサキセツコ、ハナサキブンゾウ
池田秀樹、岡本福広、垣内和代、藤岡美智子、株式会社シラカワ、藪寿美子、井上尚代、井上栄、俣野好治
田中康夫、岡田めぐみ、木下清美、芒種庵を創る会、武田千晶、新穂良明、八木富美子、堀部靖利、藤原清志
大橋真弓、渡部慶造、清水和子、村上和子、松見佐知子、西村俊、タカギノブコ、ナカキタシウヘイ
シバタカツラ、佐野幸子、久保升美、岡本節子、浦茂樹、小野克巳、上田雪子、山口裕子、平野雄士、荒瀬弘恵
左近奈緒美、笹部三枝子、イケダヒロミ、三島良信、宮内由枝、今井千郎、小川健二、竹本えり子、山添順子
廣田之信、志田原敬子、八十繁、アキタシュウジ、鈴木憲一、大里恵子、姫島貴子、藤田晴美、有山美智子
堂埜秀文、ヤマサキトモミ、戸口京子、笠原京子、阪口政人、畑輝夫、喜田壽子、宮本由紀、木村秀樹
森岡明美、高松直助、松本正子、中本敏重、中崎勘蔵、ゴトウユリコ、藤田直生、丸本正富、山本祥子
オオニシヨシオ、渥美久栄、岡崎禎広、玉田昌子、小石浩子、奥祥子、山田啓子、高橋三千子、川島美波留
加古川グリーンシティ防災会、野田村職員有志、活動報告会の皆様、JR西宮駅街頭募金の皆様
市川市立高谷中学校生徒会、認知症の人と家族の会・京都手芸同好会

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂、株式会社のだむら、株式会社フェリシモ、八日市赤十字奉仕団

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

【募金受付口座】

*ゆうちょ銀行(郵便振替)
口座番号 00900-5-29560
名義 NVNAD国内支援口

*三井住友銀行
西宮支店 普通 7022161
名義 NVNAD国内支援口

日本災害救援ボランティアネットワークは認定NPO(兵庫県第1号)であり、寄付には税制上の優遇措置が適用されます。

編集後記

大阪北部地震に続いて、西日本豪雨災害が発生しました。家具の固定や備蓄食の準備、あるいは避難場所の確認や避難のタイミングなど、事前に来ることを再認識させられました。災害が起こる前に、個人や地域で出来ることをそれぞれ再点検していただきたいと思います。(H.T)

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク** [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀